

令和 2 年度事業報告書（案）

令和 2 年 6 月 第 1 回荒尾市地域公共交通活性化協議会 （書面決議）	【議事】 1. 令和元年度事業報告(案)及び収支決算(案)並びに監査報告について 2. 荒尾市地域公共交通網形成計画の達成状況について 3. 令和 2 年度事業計画(案)及び収支予算(案)について 4. あらお相乗りタクシーの導入を含めた路線再編について 5. 令和 3 年度荒尾市生活交通確保維持改善計画(案)について →全項目 承認
令和 3 年 2 月 第 2 回荒尾市地域公共交通活性化協議会 （書面決議）	【議事】 1. 地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について → 承認
モビリティマネジメントの実施	別紙のとおり

荒尾市モビリティマネジメント事業の実施結果について

1. 実施目的

荒尾市では高齢化が進行しており、今後、移動の問題が顕著に現れる後期高齢者の急増が懸念される。一方、公共交通利用者数は減少傾向にあり、市の財政負担が増加している。

持続的な公共交通の運営には、公共交通利用者の確保が不可欠であるため、初めての利用に伴う、負担感や不安感を軽減し、公共交通への移動手手段の転換の契機とすることを目的として実施した。

2. 実施対象

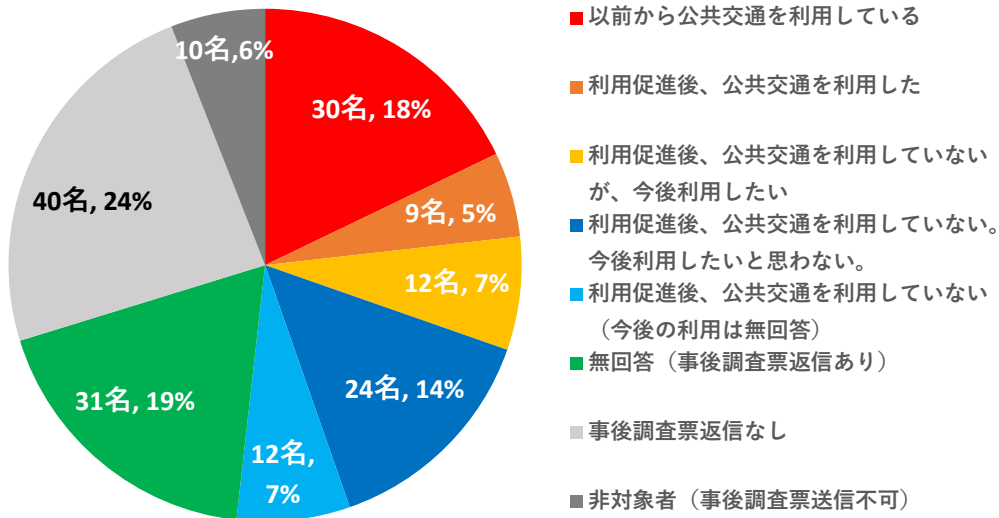
運転免許証の自主返納への関心度や健康への影響という観点で公共交通への転換を促すことに鑑み、いきいきサロン（社会福祉協議会が指導・支援）の参加者を対象とした。なお、公共交通の日常利用の有無や年齢・性別を問わず、協力意向のある方全員を対象として実施した。

3. 事業の流れ

Wave	イメージ	内容
Wave-0 事業説明/ 事前調査 8-10月 →訪問		市担当者が、荒尾市 MM 事業、おもやいたクシーの説明を行い、対象のいきいきサロンに訪問し、調査票を配布後、事前調査への協力を呼び掛けた。（168名）
Wave-1 利用促進/ 転換目標 調査 11-12月 →訪問		個人毎の行動プラン、動機付け冊子、時刻表、路線図、無料お試し乗車券、路線バスの乗り方、安全な公共交通の乗り方を配布し、公共交通の利用体験をしてもらう。転換目標調査も実施した。（106名 67%）
利用体験 11-12月		11月6日～12月31日までバス等の利用体験期間とした。（103名利用）
Wave-2 事後調査 1月 →郵送		本事業参加の感想、利用促進ツールの効果確認、運転免許返納意向、公共交通の利用実績、今後の利用意向について伺った。（106名 87%） ※2019年度対象者201名にも同時送付
Wave-3 フィードバック/ 調査 2月 →郵送		フィードバック（調査）では、交通診断カルテ（公共交通に転換した事によるCO2削減、カロリーの増加等）、本事業の結果の概要と今後公共交通を利用させていただいた場合の効果の説明資料、フィードバック調査票を送付した。（94名 60%）

4. 事業の成果

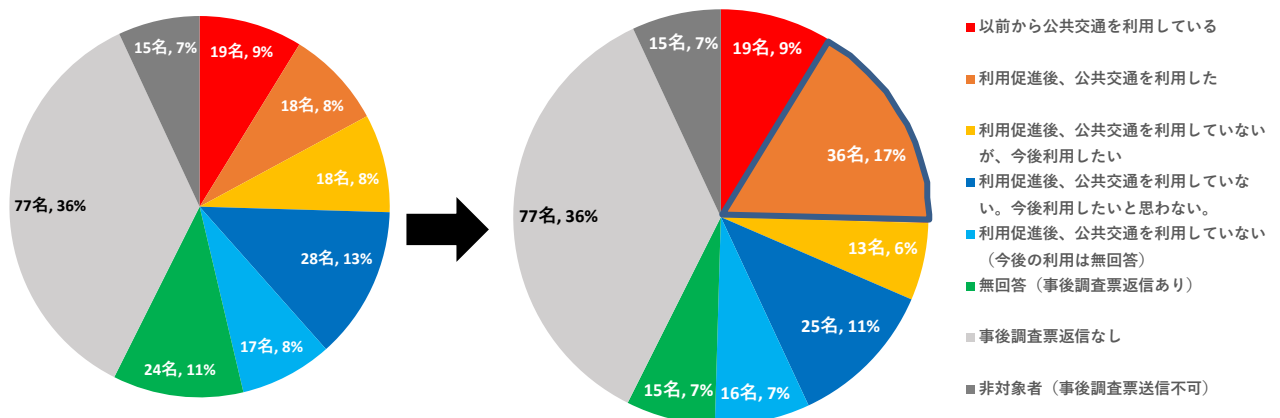
(令和2年度)



お試し乗車券
372枚配布中 97枚利用

新たに18名の方が利用され、
合計36名17%の方が新規利用。

令和元年度対象者における長期的効果



- ・ 社会福祉協議会と連携して事業実施したこと、また、いきいきサロンに直接訪問したことにより、高い回答率を得ることができた。
- ・ いきいきサロンに参加する比較的活発な高齢者を対象者として選定し、対象者個人に合った、公共交通利用方法の提案、時刻表等を提供することで、公共交通への高い転換率を得ることができた。